

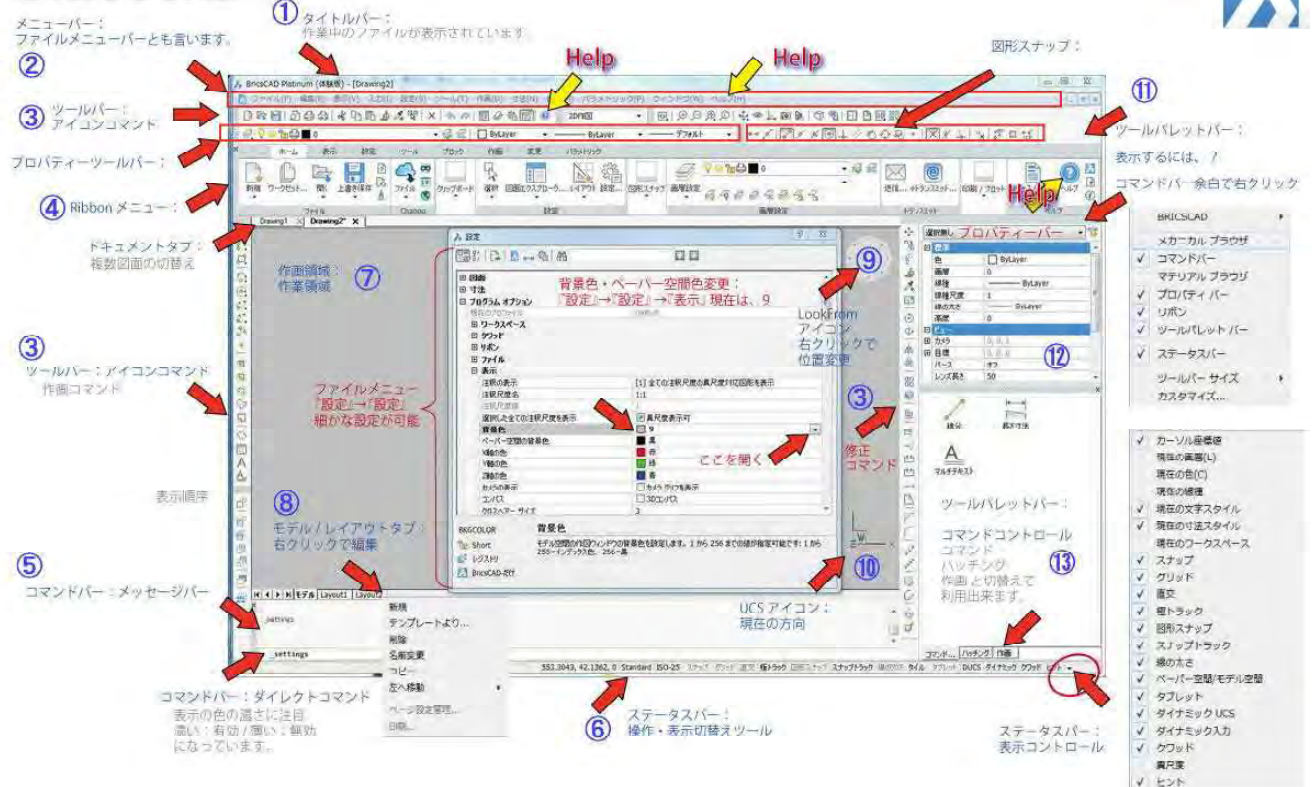
環境設定マニュアル



■ ユーザーインターフェイス - 画面名称	3
■ 環境設定保管・切替え	4
■ 単位の設定	4
■ 自動保存間隔の指定	5
■ スクロールバー無効	6
■ 画面背景色設定 → 『黒』	6
■ 旧タイプで常に保存	7
■ クロスヘヤーサイズ・色変更	7
■ ビックボックスの設定	7
■ 図形スナップ設定	8
■ 図形トラックスナップ	8
■ 極追加角度	8
■ スナップトラックの設定	9
■ ダイナミック入力	9
■ マウス中ボタンで画面移動	10
■ テキストスクリーンの表示	10
■ クワッド無効	10
■ オブジェクトの自動ハイライト効果	11
■ マウスショートカットを無効にする	11
■ プロンプトメニューを止める	11
■ トリムの仮想ライン延長	12
■ 文字がミラー反転したら	12
■ フォント変更	12
■ マウスズームの倍率変数	13
■ ファイルをドラック&ドロップで利用する	13
■ 常にダイアログを表示するには、？	13
■ おまけ	14

■ ユーザーインターフェイス - 画面名称

BRICSCAD

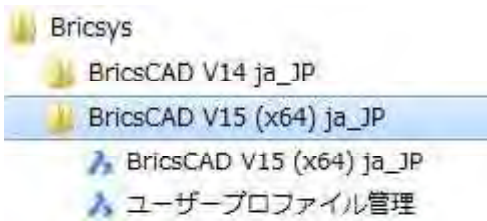


- ① タイトルバー ~ 作画中のファイルが表示されています。
- ② メニューバー ~ プルダウンで各機能コマンド実行出来ます。『Alt』で表示。
- ③ ツールバー ~ アイコン化されたコマンド(表示は、余白右クリック)
- ④ Ribbonメニュー ~ 非表示設定は、左上『×』
- ⑤ コマンドバー ~ ダイレクトコマンド入力
- ⑥ ステータスバー ~ モード切替→直行モード、極トラック、スナップ、等。
- ⑦ 作画領域 ~ 背景色『黒』 設定→設定 『背景色』で検索(下矢印)
- ⑧ モデルレイアウトタブ ~ モデル・layout切替え(右クリック)新規・コピー等
- ⑨ Lookfrom ~ 3D 簡易表示方向
- ⑩ UCSアイコン ~ WCS・UCS 表示位置は、変更出来ます。
- ⑪ コマンドバーカスタム ~ この余白で右クリック『BRICSCAD』→表示したいバー
- ⑫ プロパティバー ~ 各要素の属性変更出来ます。『フィルターアイコン』
- ⑬ 浮動ツールバー
- ⑭ ツールパレットタブ ~ ツールの切替えバー

カスタマイズは、右クリック→ ツールを追加 (選んで-現在のツールに追加)

拡大画像は、[cadweb](http://cadweb.com) から

■ 環境設定保管・切替え



環境設定のバックアップも忘れずに…

win スタート→ 全てのファイル→ brics …

【ユーザープロファイル管理】

コピーで新たに作成 名称コメントを付けて保存です。 不具合がある場合、いつでも戻れるように最初に準備してください。



ここでは、bak として予備を保存しています。

ファイルネーム末尾に日付で管理する方法をお薦めしています。 不具合前に戻す準備です。 予備の【bak】は、いつでも初期に戻す為に最初に作成して下さい。

コメントも有効に利用して管理します。

- ・ 客先毎に利用する…
- ・ Ver 毎に使い分ける…
- ・ 環境を変えて試す…

何か変更する前に環境を保管する習慣を付けましょう。

保管出来ましたら最後に切替えます。 現在の状態をセットして起動します。

■ 単位の設定



入力単位：[4] ミリ

計測値：[1] ミリ系

長さ単位形式：[2] 十進表記

長さ単位精度：0.001

メカ設計用には、上記が必携となります。 inch の設定の場合は、ここを変更します。

■ 自動保存間隔の指定



『設定』 → 『設定』
「プログラムオプション」

『検索』 → 『自動保存』

1. 切替時、自動保存を確認します。
2. 保存ファイルパスを変更します。
サーチパスも作業環境にて変更して

下さい。

3. 自動保存の間隔

万が一に備えての自動保存(分単位)復元することが出来ます。



初期値は 60 分です。自動保存ファイルの名前は、ファイル名・拡張子 .SV\$ コピーして、拡張子を DWG にすると通常のファイルとして利用出来ます。

シートセットの自動保存も確認します。

ティフオルト：オン

注意) VBA-プロジェクトをロード時… にチェックがありますが 64bit では、未対応です。

ちょこっと Memo

■ スクロールバー無効



スクロールバーが邪魔という方は、『ファイルメニュー』『表示』最下部にスクロールバーがあります。

ショートカット 『Shift + F4』

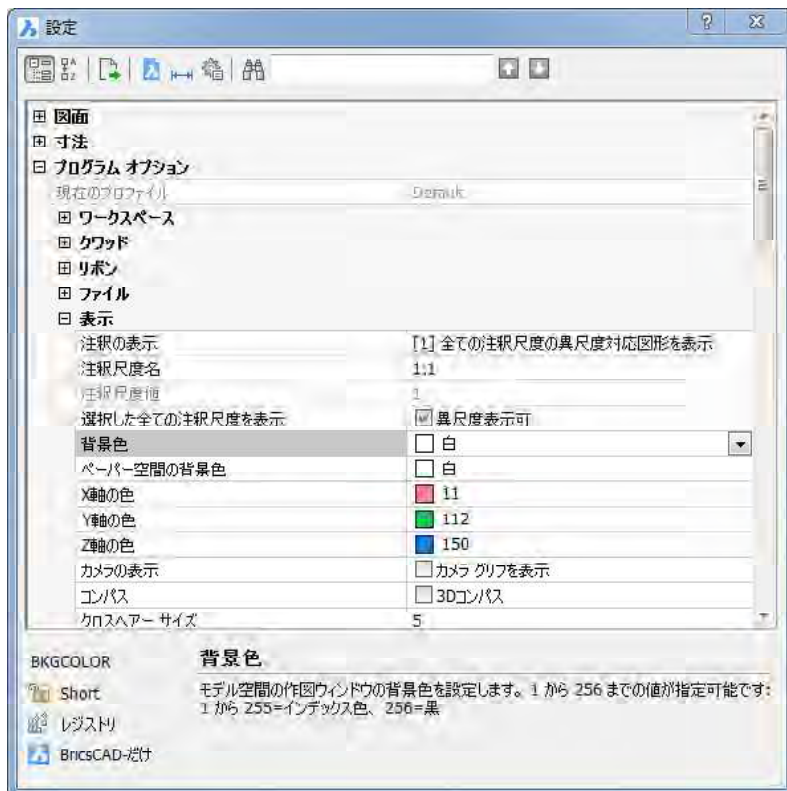
『設定』 → 『設定』 → 『プログラムオプション』
『システム』 → 『ウィンドウスクロールバー』
チェックを外します。

コマンドバー・Ribbon バー・ステータスバー・プロパティも同様です。コマンドバーは、常に使いますので、チェックはそのままです。

ユーザーインタフェース ⑪余白右クリックも参考にして下さ

い。

■ 画面背景色設定 →『黒』



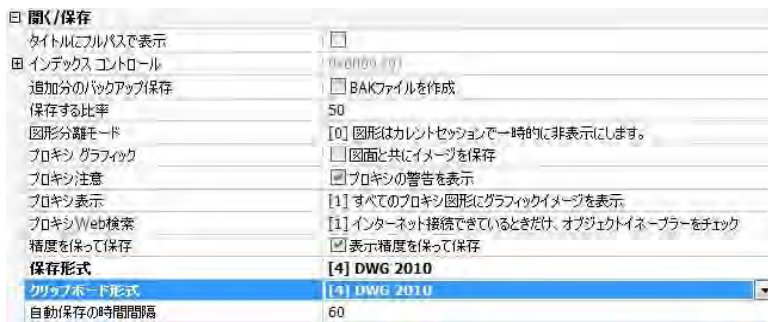
「設定」 → 「設定」
→ 「プログラムオプション」
→ 「表示」 → 「背景色」

『検索』 → 『背景色』
▼で『黒』を指定

ペーパー空間と個別に設定出来ます。お好みで設定出来ます。

■ 旧タイプで、常に保存

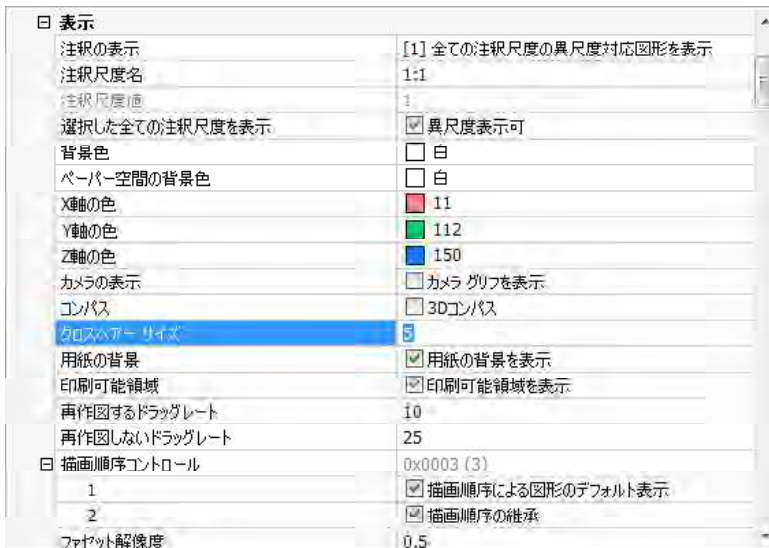
下図のように保存形式を指定出来ます。パレットが表示されます。



保存形式と起動は異なります。クリップは、2013 のままだでも、OK です。

この時、バックアップファイルを作るか？ の指定も同時に行います。

■ クロスヘヤーサイズ・色変更



『プログラムオプション』 → 『表示』 →
クロスヘヤーサイズ (3) → 5

【色の変更】

『プログラムオプション』 → 『表示』

X 軸の色 →

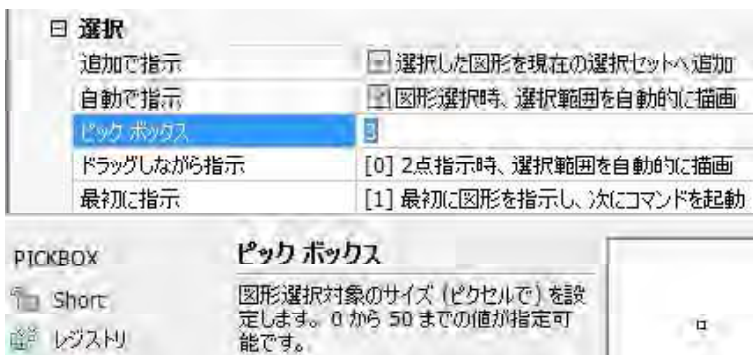
Y 軸の色 →

Z 軸の色 (2D 不要)

好みになりますが、膨張色：収縮色を意識して設定して下さい。

収縮色： グレー・濃い青・暗い茶色など

■ ピックボックスの設定



『プログラムオプション』 → 『選択』

ピックボックス

初期値： 3 → 5

図形を選択する時に、検索範囲のボックスのサイズを大きくします。

ホイールの速度の設定：『ナビゲーション』 → スピード改善 [5] → 数値を変更します。

■ 図形スナップ設定



図形スナップは、オブジェクトの正確な位置を指定するために利用します。

切替えは、ステータスバーの「図形スナップ」で行います。

カーソルを乗せて、マウスの右ボタンをクリックすると設定が表示されます。

設定変更は、『検索』→『スナップ』検索↓ で、細かな設定が可能です。

■ 図形トラックスナップ



極スナップは、任意の角度を設定して角度線分を作図出来ます。直行と切替えて利用出来ます。

切替えは、ステータスバーの「極トラック」で行います。

角度の設定は、設定で行います。

現在は、『90』→15

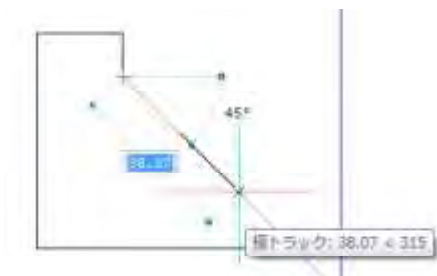
その都度、設定で切替えて利用出来ます。開始線分からの正確な角度で

作図する場合、角度設定をして利用します。15度に設定すると15度単位で増分します。

■ 極追加角度

極追加角度は、増分されない設定です。入力した値のみトラッキングされます。極追加角度を有効にしたい場合は、『極トラック追加角度を使用』をオンにします。

■ スナップトラックの設定



設定した角度で作画する場合

『極トラック』

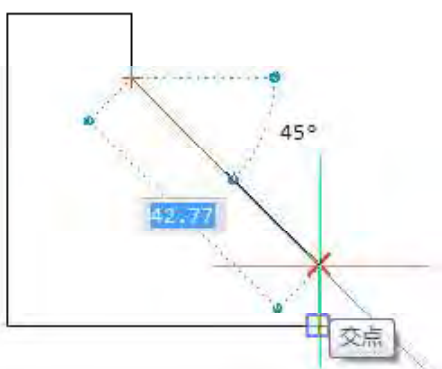
『図形スナップ』

『スナップトラック』

をオンにすると指定角度の位置にカーソルが来ると、直前に指定した点から現在のカーソル位置の相対座標が表示され正確な角度で作画出来ます。

45度優先して作画出来ます。

値の切替えは、TABで送ります。

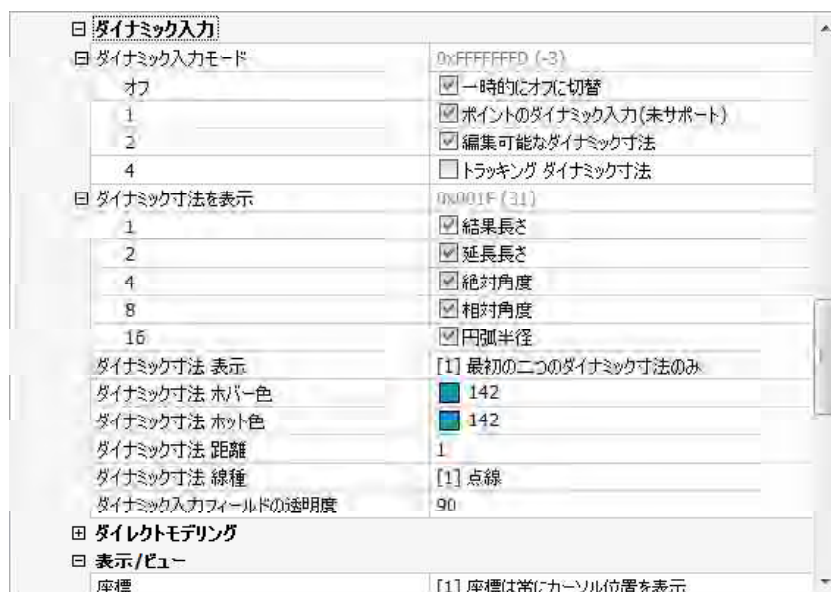


さらに、延長してドラックすると起点の交点を検出して、正確な角度を優先して書くことが出来ます。

この機能を利用して、コーナー処理をすることなく図形が作成出来ます。

ステータスバーで切替えての運用となります。

■ ダイナミック入力



ダイナミック入力は、作成中またはグリッ編集集中の線形図形の長さや角度を指定するインターフェイスをカーソルの位置に表示します。上記の設定とは、別管理です。

ダイナミック入力数値は、TABで送ります。

ダイナミック入力の動作や作動状況は、一連のシステム変数とユーザー設定を通してコントロールされます。

コマンドプロンプト領域をその都度見なくても、作図が可能になります。

■ マウス中ボタンで画面移動



『設定』 → 『設定』

『検索』 → 『マウス中』

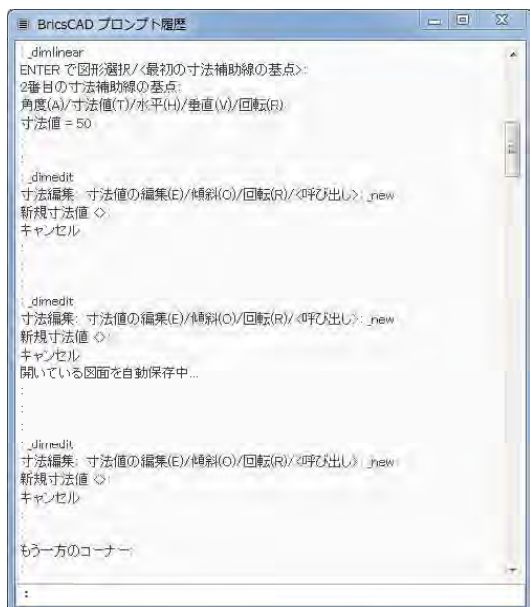
『画面移動のサポート』

『プログラムオプション』

『操作の設定』

検索 → 『マウス』 で、ZOOM 係数・方向を設定出来ます。

■ テキストスクリーンの表示



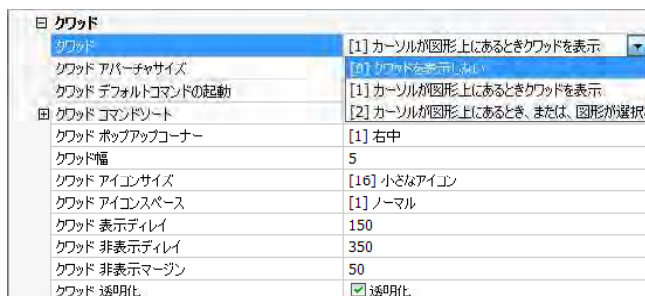
・ Bricscad プロンプト履歴

テキストスクリーンは、メッセージを確認したり、履歴を確認したり、さまざまな情報がテキストで表示されます。

『F2』キーを押すと、テキストスクリーンが表示されます。

もう一度『F2』を押すか、閉じます。

■ クワッド無効



『プログラムオプション』 → 『クワッド』 → クワッドを表示

[0] クワッドを表示しない

ステータスバーでも可能ですので、ここでは無効とします。

3D の場合は、パスして下さい

■ オブジェクトの自動ハイライト効果

日 選択プレビュー		『プログラムオプション』 → 『選択』
日 選択プレビュー表示	0x0003 (3)	→ 『選択プレビュー』
1	<input checked="" type="checkbox"/> どのコマンドも起動していないとき	
2	<input checked="" type="checkbox"/> 図形を選択のコマンドプロンプト表示時	
選択プレビュー効果	[2] 厚さのある破線	選択プレビュー効果
日 選択プレビューフィルタ	[0] 破線	[0] 破線
1	[1] 厚さのある線分	[1] 厚みのある線分
2	[2] 厚さのある破線	[2] 厚みのある破線 (初期値)
4	<input checked="" type="checkbox"/> 表を除外	
8	<input type="checkbox"/> マルチテキストを除外	
16	<input type="checkbox"/> ハッチング図形を除外	
32	<input type="checkbox"/> グループの図形を除外	
日 選択モード	0x0007 (7)	
1	<input checked="" type="checkbox"/> エッジを選択	
2	<input checked="" type="checkbox"/> 面を選択	
4	<input checked="" type="checkbox"/> 検出された境界を選択	
選択プレビューを表示する	30	

■ マウスショートカットを無効にする

『プログラムオプション』 → 『システム』 → 『マウスショートカット』

マウスショートカット	[1] マウスショートカットを有効	→ 『マウスショートカットを無効』
ファイル ドラッグ	[1] ファイルを開く	
最新のファイルリスト	10	
プログレス バー	<input checked="" type="checkbox"/> プログレスバーを表示	※ 2D の場合は、この機能は邪魔です。
メインウィンドウの状態	[0] ノーマル	【画面操作】
日 メインウィンドウの左上	251, 108	・リアルズーム = Ctrl+Shift+左 鍵
日 メインウィンドウ サイズ	1382, 973	・リアルタイムパン = Ctrl+Shift+右 鍵
コマンドライン状況	[1] コマンドラインを表示	・ビュー回転 = Ctrl+左 鍵
プロパティバー状態	[1] プロパティバーを表示	・Z 軸固定回転 = Ctrl+右 鍵
ウィンドウ スクロールバー	<input type="checkbox"/> スクロールバーを表示	
ウィンドウ ステータスバー	<input checked="" type="checkbox"/> ステータスバーを表示	
レイアウト モデル タブ	<input checked="" type="checkbox"/> レイアウト モデル タブを表示	

■ プロンプトメニューを止める

『プログラムオプション』 → 『表示』 → 『プロンプトメニュー』

プロンプトメニュー	[3] 画面右上にプロンプトメニューを表示	
日 プロンプトメニュー フラグ	[0] プロンプトメニューを表示しない	※ダイレクトコマンド利用の方には、邪魔
再作図モード	[1] プロンプトメニューを表示	です。コマンドラインにも説明が出ますので、
スクリーンメニュー ポップス	[2] 画面左上にプロンプトメニューを表示	マウスの空想距離を無駄に増やします
日 画面モード	[3] 画面右上にプロンプトメニューを表示	
スクロール履歴	[4] 画面左下にプロンプトメニューを表示	
日 図形ソート	[5] 画面右下にプロンプトメニューを表示	

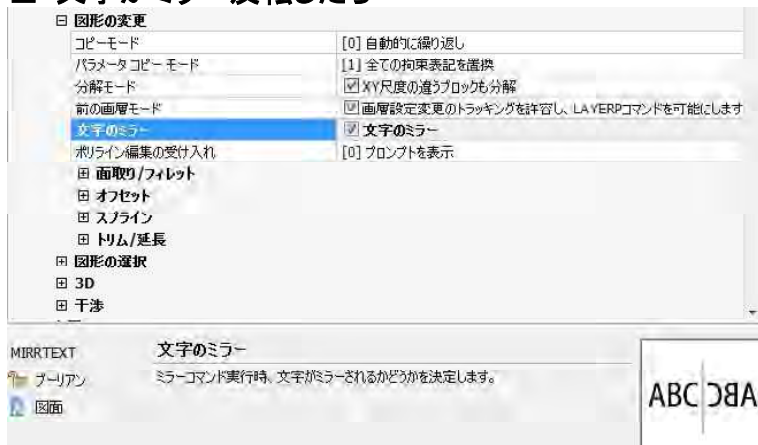
ので [0] プロンプトメニューを表示しないとしました。

■ トリムの仮想ライン延長

『図面』 → 『作図』 → 『図形の変更』

日 図形の変更		→ 『トリム / 延長』
コピーモード	[0] 自動的に繰り返し	
パラメータコピーモード	[1] 全ての拘束表記を置換	
分解モード	<input checked="" type="checkbox"/> XY尺度の違うブロックも分解	
前の画層モード	<input checked="" type="checkbox"/> 画層設定変更のトラッキングを許容し、LAYERPコマンドを可能にします	
文字のミラー	<input checked="" type="checkbox"/> 文字のミラー	
ポリライン編集の受け入れ	[0] プロンプトを表示	
日 面取り/フィレット		
日 オフセット		
日 スプライン		
日 トリム/延長		
エッジモード	[1] 選択した図形を仮想的な境界まで、延長、または、境界でトリム	[1] 選択した図形を仮想的な境界まで、または、境界でトリム 設定を確認します。
投影モード	[0] 選択されたエッジを延長せず使用	
日 図形の選択	[1] 選択した図形を仮想的な境界まで、延長、または、境界でトリム	

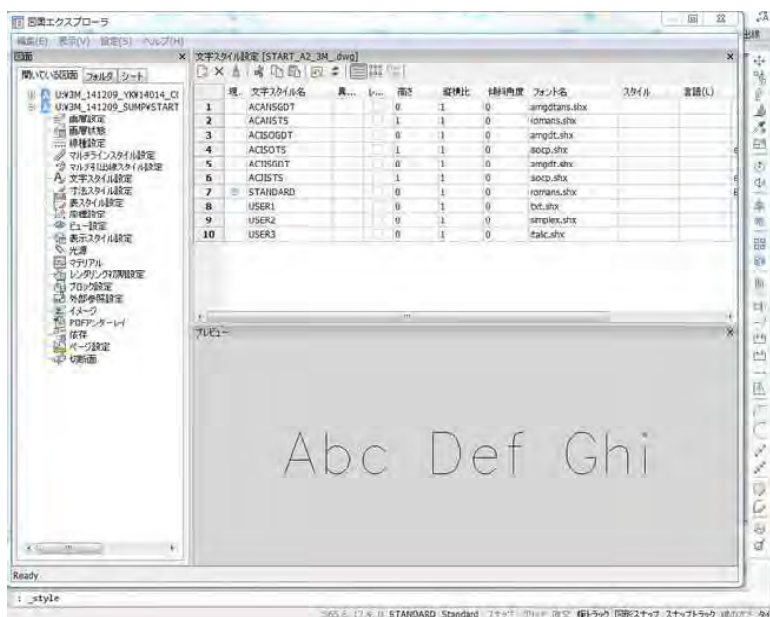
■ 文字がミラー反転したら



『図面』 → 『作図』 → 『図形の変更』
→ 文字のミラー

貰った図面の文字が反転していた場合の設定です。

■ フォント変更



コマンドバー → style + Enter

図面エクスペローラーがポップアップします。希望のフォントに変更する。

txt.shx と Japanese.shx との組み合わせで、表示されます。

extfont.shx extfont2.shx は、a-cad 体験版から入手出来ます。

■ マウスズームの倍率変



ZOOMFACTOR の新しい値 (3 から 100 へ)
<60>: 40 ~ 50

コマンドラインから変更出来ます。

『設定』 → 『設定』

『検索』 → 『 ZOOM 』で確認します。

自分に合った数値を探します。

■ ファイルをドラッグ&ドロップで利用する

元に戻す機能のコントロール	0x0005 (5)
1	<input checked="" type="checkbox"/> 元に戻す機能を有効にする
2	<input type="checkbox"/> 1個のコマンドだけ元に戻す
4	<input checked="" type="checkbox"/> 必要時、自動的に動く
8	<input type="checkbox"/> グループは現在、使用可
元に戻すマーク	0
ウィップスレッド	0x0000 (0)
1	<input type="checkbox"/> 再作図マルチスレッド処理
2	<input type="checkbox"/> 再描画マルチスレッド処理
3Dマウスモード	[1] 3Dマウス使用可
マウスショートカット	[1] マウスショートカットを有効
ファイルドラッグ	[1] ファイルを開く
最新のファイルリスト	[0] ファイルを入力
プログレスバー	[1] ファイルを開く
メインウィンドウの状態	[0] ノーマル
メインウィンドウの左上	253, 137
メインウィンドウサイズ	1278, 862
コマンドライン状況	[1] コマンドラインは表示
プロパティバー状態	[1] プロパティバーは表示
ウィンドウスクロールバー	<input type="checkbox"/> スクロールバーを表示

『設定』 → 『設定』

→ 『プログラムオプション』

→ 『システム』 → 『ファイル ドラッグ』

エクスプローラーまたは、マイコンピュータから図面ファイルをドラッグ&ドロップした場合、現在の図面にファイルを挿入するか、個別に開くかの動作設定出来ます。

『検索』 → ファイル[␣]ドラッグ

[␣]は、スペース

テンプレートも有効です。吐き出しの出来るものを再利用する場合は有効な手段です。

例 「ファイルを入力」指定場合、図形挿入になります。

INSERT

ブロッカー一覧(?) / ダイアログ(~) / <挿入ブロック名>: U:/_BRICS_DAT/3D-1.dwg

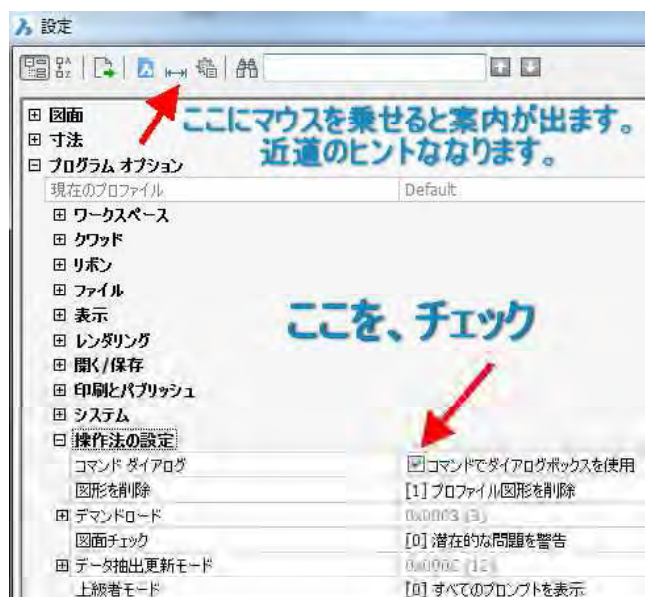
複数ブロック (M) / 尺度 (S) / <挿入基点>:

コーナー (C) / XYZ / X 尺度係数 (X) <1.000000>:

Y-方向の尺度: <Y=X (1.000000)>:

回転角度 <0>:

常にダイアログを表示するには、？



ファイルメニュー 『設定』 → 『設定』

→ 『プログラムオプション』 → 『操作の設定』

『起動』

"新規ダイアログボックスを表示"

にチェックを入れます。

※マウス操作おさらい



画面移動左右：Ctrl+ 矢印キー ← ・ → 左右

画面拡大：Ctrl+ ↑ ・ ↓ 上下

画面上移動：Page Up

画面下移動：Page Down

キーボードのショートカットは、少しずつ…
マスターしていきましょう。

-Win 標準ショートカットキーおさらい

- 1.[保存] ～ Ctrl+S
- 2.[ファイルメニュー表示] Alt 続けて、メニューに表示されている文字 (*)
- 3.[複写・コピー]～ Ctrl+C
- 4.[貼り付け]～ Ctrl+V
- 5.[カット・コピー]～ Ctrl+X
- 6.[起動画面の切替え] ～ Alt+Tab

※～ 作図範囲にのみグリッドを表示させたい場合

『設定』 - 『設定』

→ 『図面』 や 『作図』 → 『座標入力』 → 『スナップ/グリッド』 → 『グリッド表示』

『□図面範囲を超えて表示』のチェックを外します。

※～ 構築線が表示されない場合

何らかの拍子に構築線が描画されない場合があります。この PC 環境による物です。

画面を拡大／縮小しても、描画が遅れたり、描画出来ない場合は、メニューの「表示」-[再作図]を実行すると表示出来ます。

※～ タイトルバーにファイル名をフルパスで表示させたい

『設定』 - 『設定』

『プログラムオプション』 → 『開く/保存』

『タイトルにフルパスで表示』チェックを入れる则表示されます。

[Bricscad 設定のまとめ](#) を再編集してまとめました。

今後とも、宜しくお願いいたします

